

飯田善國

絵画が奏でるメロディー展

2014年3月～2014年9月

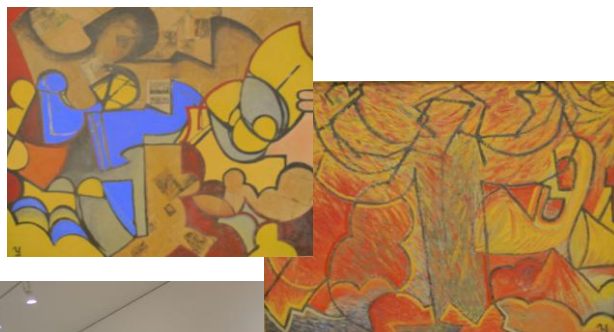


■ 飯田善國(いいた・よしくに)

1923(大正 12)年、栃木県足利郡生まれ。慶應義塾大学高等部から応召(学徒出陣)し中国大陸へ。戦後は慶應大学に復学し西脇順三郎に師事。卒業後の1948(昭和 23)年、東京芸術大学入学、油絵科で梅原龍三郎に師事。卒業後は個展・グループ展などで作品を発表。1956(昭和 31)年、野上彌生子との縁でローマに留学しファツオーニのアトリエで初めて彫刻を学ぶ。後、ウィーンに移り1959年には抽象裸婦連作を描く。その後本格的に彫刻に転じウィーンやベルリンを拠点に活躍。1967(昭和 42)年帰国。翌年の第一回神戸須磨離宮公園現代彫刻展で最高賞を受賞。木彫からブロンズ、ステンレスなどによる金属彫刻、さらに色彩と言語を独自のロジックで統合した「クロマトフィロロギア」による金属と着色ロープの作品など、独自の造形を見せる彫刻作品で内外に広く知られるほか、版画やコラージュなどの平面作品、ステンレスによる野外モニュメントも多数。享年 82 歳。

音がない場所がなかなかないこの世の中で、無音の空間とはとても贅沢なものだと思います。その贅沢な空間のひとつが、美術館ではないでしょうか。ほとんどの美術館では音楽は流れていませんが、もしも美術館に何らかの音楽が流れていたとしたら……。それは大きく物事の印象や自身の感情を左右する要素となるのは確かです。

このたびの展示は、「ピアノ」「オーケストラシリーズ」「写真コラージュ」「夜景シリーズ」からなります。作者の人物像や作品に込められた想いを想像したり、構図や手法、色使いなどの技術を学んだり、美術館を楽しむ方法は人それぞれですが、美術が苦手な人でも気軽な気持ちで楽しんでいただけるような、あたかも絵からメロディーが聞こえてくるような作品ばかりではないかと思います。音のない美術館であるからこそ、自由自在に想像力を広げてみてください。人それぞれ思い思いのメロディーを心に響かせてください。



- 開館時間：午前 10 時～午後 4 時・無休
- 交通：[電車]大糸線穂高駅から「ハーモニック・ドライブ・システムズ」を目的地に タクシーで 15 分
[車]長野自動車道安曇野インターより 20 分
- お問い合わせ：〒399-8305 長野県安曇野市穂高牧 1856-1 株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ
TEL 0263-83-6800(代) <http://www.hds.co.jp>

IIDA・KAN

AZUMINO ART LINE
安曇野アートライン
当美術館は安曇野アートラインに参加しています



TRIAD 2000年、創立30周年を記念して、モーションコントロール分野で更に高次元の理想を追求するために、生産および測定環境のプロトタイプとなる『研究棟（のちにI・K KANと命名）』と、技術開発に携わる従業員の感性を高めるための『ギャラリー棟（のちにIIDA・KANと命名）』と高いセキュリティを実現する『守衛棟』の三棟を建設しました。豊かな穂高の自然に溶け込みつつ、高度な技術的要求を独特のフォルム包み込んだこの建築群に、設計・監修を担当した槇総合計画事務所の“槇文彦”氏より「三つの」を語源とし「三和音」を意味する『TRIAD』の名称が与えられました。

